

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プログラミング須磨校		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 13日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2025年 1月 13日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員同士のコミュニケーションが円滑であり、信頼関係が構築されている。	・定期的にミーティングを行い、個別支援計画書の作成やモニタリングのほか、研修や訓練、情報共有などを行っている。	・メンタルヘルスやアンガーマネジメント研修で学んだ内容を活かし、職員一人ひとりが風通しの良い職場環境になるよう努めることが大切と考える。
2	・毎日の活動内容が豊富である。	・各週ごとに5領域に基づいた療育内容を考えている。 ・毎日の活動以外にも季節のイベントなども行っている。	・職員ミーティング等の機会を通じ、行った活動を振り返りさらなる内容の充実を図っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・専門職による個別支援が不十分。	・作業療法士、言語聴覚士、心理的支援など専門職による直接的支援が望まれるが、現段階では確保できていない。	・必要な人材が確保できるまでの間、既存の職員が専門性につながる支援に取り組んでいく。 ・グループ内の専門職に助言を求め間接的に支援を行っていく。
2	・「ペアレントトレーニング」等、家族が参加できる研修の場の提供およびコミュニティの形成が必要。	・保護者からの個別相談に対するアドバイスや助言はできているが、多くの保護者を対象とした研修や情報提供の取り組みはできていない。	・今後は年間計画に研修等を組み込む等、子どもに対する家族の対応力向上につなげていく。
3	・災害時の対応の強化が必要。	・災害時、非常時の対応と言う項目に「わからない」という回答も見られたため、実施後の報告の仕方が課題である。	・各マニュアルを改めて保護者への配布または周知の確認をとり、実施後には写真などを使い分かりやすいような伝達方法を検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	プログラミング須磨校		公表日		2025年 3月 3日		利用児童数	30名	回収数	28名
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27			1	・活動に合わせて活動場所や机の配置を変更して支援しております。				
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	4		4	・どういった職種の先生が何人くらいおられるのか、よくわかっていません。 ・その日の先生の数、子どもの数が確認出来たら。 ・先生の入替わりが多く、子どもが不安に感じていることがある。その点の改善を望みます。	・指定基準を満たしている職員配置になっていますが、今後もより良い支援のために職員の専門性を高められるように努力いたします。			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27			1		・特性や状況など、児童に応じた環境づくりに努めています。			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27			1		・定期的アルコール除菌を行っております。お子さまの手に触れるものは特に気を使っております。			
5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26		1	1	・どのようにプログラミングを学んでいるかは、こちらには伝わっていないかもしれません。 ・子どもが痲癩を起こすと。専門性のある支援はほとんどなく、他事業所へ映るように進言された。	・学習の進行具合や使用しております教材などをお伝えしてまいります。 ・お子さまの発達段階に応じた支援技術を学ぶ研修や、専門家のアドバイスを受けながら具体的な支援をさせていただきます。			
6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	1				・定期的にカンファレンスを開催。支援内容の見直しや利用者の意見を収集し、整合性を確保する仕組みを強化しています。			
7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26		1	1	・デイでの困りごとや様子など、親へ情報共有してほしいとお願いしても、こちらがきかないと教えてもらえない。こちらのニーズも正確に依頼できない。	・ニーズや困りごとを正確に受け取るために書面や連絡フォームを用意し、保護者様との情報共有がスムーズになるよう取り組みます。			
8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1	1	1		・放課後等デイサービスガイドラインに沿って具体的な支援内容を反映していますが、利用者の意見を取り入れ、個々に応じた内容を設定しています。			
9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26		1	1	・困りごとが出ると「他の子が怖がるんですよね」「ルールが守れていません」と辞める方向の話をされます。 療育が必要だからデイへ通っているのに、何の為にデイなのか憤りを感じた。	・放課後等デイサービスの存在意義を今以上に認識し、保護者様からのニーズに応えられるよう努めて参ります。			
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	1		1	・子どもの持つ課題に沿った活動プログラムを色々と考えて実施していただいていると思います。	・今後もいろいろな活動を計画し、より一層通所が楽しくなるよう、精進してまいります。			
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	4	14					
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	1							
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27				・個別支援計画書は、渡され読むまもなくすぐにサインをさせられ説明もなく驚きました。	個別支援計画書は保護者様に内容をご確認いただき、同意の上、ご署名いただくようにしております。			
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1	4	12		家族も参加しやすい研修会や情報交換の場を定期的に開催し、支援の充実を図る場の提供を検討しています。			
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27			1	・何度もデイでの様子を頻りに教えてもらえるよう、お願いをしましたが、何か起こってから聞いて知る事ばかり。後手ばかり。	送迎時または保護者様にお迎えに来ていただいた時に、当日の様子を可能な限りお伝えできるよう、より一層努力いたします。			

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	3	2	1	・希望があれば…と言う感じなので、懇談を固定化してもいいと思います。	保護者様からのご要望があれば、定期面談も可能となります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	1	1	1	・共感的支援とは…？ ・共感はほとんどなく「ルールが守れない」「怖がるんですよ」と言われたことがとても親として心が痛かったです。	共感的な支援とは、相手(お子さまや保護者様)の立場に立って感情や考えを理解し、寄り添い型の支援を行うことだと理解しております。職員一同、共感的な支援に取り組んで参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	10	13		・保護者会や情報交換の機会を提供し、きょうだい向けのイベント等を計画し、家族全体で支援を受けられる環境を整えます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	4		4		・ご相談等がございましたら迅速に対応させていただきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	2	1		・当日の様子を、保護者へ伝えてくれる姿勢が見られず、こちらから聞かないと教えてもらえません。その日の様子はアプリの「サービス提供記録」にて確認できますが、機械的に項目のチェックが入っているのみで、その日の様子がとても分かりにくいです。	当日の様子につきましては、送迎時または保護者様がお迎えに来ていただいた時にご説明できるようにしておりますが、情報のご提供が不足していることに関しましては改善できるようにいたします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25			1	・予約システムの利用にもだいぶ慣れてきました。ペーパーレス化が進んでおりとても楽です。	・今後もHPやSNS (Instagram、YOUTUBE) を活用し、活動内容等を発信できるように工夫します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25			1		・社内研修を行い、個人情報管理の厳格化を徹底しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1	1	5	・災害時に対応、マニュアルがあれば見せていただきたいです。親はどう行動するのかわからない。	・各マニュアルに基づき訓練を実施しています。保護者様にも周知させていただくよう心掛けていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1	1	6		非常災害の発生を想定した、定期的な訓練や備蓄の確保・見直しを行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	3		6		安全計画の内容を保護者様へ説明し、面談や資料配布等を通じて周知しています。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1	1	5	・デイに行ったとき、子どもがおでこに自傷してけがをしてきた。翌日に親が見て気づきデイに確認すると最近自傷が多いとのこと。なぜあった日に教えてもらえないのか。何事もこちらから聞かないと教えてもらえないことに不安を覚えた。他事業所なら当日すぐに連絡をもらえるのに。	保護者様へのご報告が必要と判断した場合には、速やかにご連絡させていただきます。お子さまの特性に配慮が欠けていた点につきましては、再発防止に努めます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	4				リラックスできる空間の整備や、日常的に交流の場を提供しています。また、お子さまとの面談も行い、本人中心の支援を軸とする活動を提供しています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	2		1	・毎回楽しみにしています。平日も休日プログラムも喜んでいきます。	・個々の関心や興味に合わせたプログラムの導入や自由時間を充実させた提案等の工夫を行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25			1	・いつもありがとうございます。これからもよろしく願っています。 ・今まで何か所かデイを利用をしましたが始めて不信感を覚えました。専門性が本当にあるのか、知識やスキルに疑問を感じる。	・支援の質の向上を図る年間研修計画をはじめ、個別支援を強化するための新たな支援プログラム導入を検討しております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		プログラミング須磨校		公表日		2025年 3月 3日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0	・整理整頓を心がけており活動の範囲を広くとっている。	・仕切りスペースがもう少しあればよい。 ・一人で過ごしたい児童や、クールダウンが必要な児童が過ごす「半個室」のような部屋があれば良い（パーティション等）	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	1	・利用児童の人数、イベント内容などにより他事業所の余剰人員からヘルプを要請している。	指定基準は満たしているが、職員の手がもう少しあればより良い支援につながる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		・視覚支援のカードなどを用いて支援を行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		・整理整頓を心がけており活動の範囲を広くとっている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	1	・個別空間の確保ができるように取りくんでいる。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	1	・朝礼を通して目標設定、終礼時に振り返りを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・評価表を活用し、業務改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	・面談を毎月行い、意見などを発言しやすい雰囲気作りを行っている。	・管理者が職員の声を引き出せるように努力している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	・現在、第三者による外部評価は行っていない。	・外部評価は意識向上のためにも導入したいと考えている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	2		・今後、年間研修計画を定め、職員の質の向上に努めていく。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		・5領域や児童の発達段階に合わせて職員間で話し合い作成されている。 ・取り組んだ内容を配布や送迎時に伝えていく。	・見て伝わるような方法を職員間で話し合い保護者へ公表できるように努める。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		・初回相談対応時のアセスメント、日々の連絡のやり取り、モニタリングなどにて状況を把握して計画を作成している。	・今後も保護者の意見を把握し、よりよい支援のため業務改善に努めていく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		・児童発達支援管理責任者と、実際に支援や指導をした職員の共通理解のもと、子どもの発達段階に合わせた討論が行われている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		・毎朝の朝礼で日々のプログラムの立案、確認を行っている。	・他施設の活動プログラムなども参考にしていけたらよい。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		・インフォーマルなアセスメントツールとして独自のシートを使用している。また、保護者から専門機関で受けた検査結果等のコピーを提供していただき活用している。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		・放課後等デイサービス計画の見本例に合わせて、必要事項や内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		・毎月のミーティングや日々のカンファレンスにて検討、立案している。	・活動の目的や子供の様子に合わせて、支援ができるようにチームでさらに連携を図っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		・各週領域を変え、子どもたちが楽しめるような活動を心がけて取り組んでいる。 ・年間を通して継続する活動もあるが調理や季節のイベント等にも積極的に取り組んでいる。	・子どもの発達や課題に合わせて、苦手意識のあるものも自信につながっていくように今後も様々なスキルと職員が身に付けていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3		・主活動はPCを用いて個別活動で行うが、療育時間は児童の特性も考慮しながら小集団で行っている。自由時間は個別にリラックスして過ごせるよう環境を整え、活動を計画している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	・支援開始前に必ずミーティングを行い、前回活動の様子や配慮事項、プログラム、メニューの確認、役割分担など入念に話し合いを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		・翌日のカンファレンスで報告、話し合い共有するとともに業務日報を活用している。緊急性のある時にはその場で支援の変更等を職員間で共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		・デイでの様子や支援内容など日々の記録を確実にし、必要に応じて支援の改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		・定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の目標や支援内容を見直し作成している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3		・意識して支援を行うように努めている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		・安全上の事案を除き、自己選択や自己決定ができるような言葉かけや関わり方を職員間で共有している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		・児童発達支援管理責任者や、児童及び家庭の事情を把握した職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	2		・緊急時に備えてマニュアルを作成し体制を整えてはいるが、実践できるかを検証していく必要がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	1	・学校の情報は保護者を通して行うとともに、ホームページ等でも確認をしている。個別の事案に関しては送迎時に担任の先生と情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	2		・必要、要望に応じて連携を取っていく必要がある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3		・情報提供等の問い合わせはないが、求めに応じて情報提供できるように準備をしている。	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		3		・今後は児童発達支援センターや連絡会などに積極的に参加し、助言やアドバイスを受けて日々の支援に活かしていく。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3		・現段階では地域の子供との交流の場はないが、今後、必要に応じて左記の活動の機会も検討していく。	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		3		・須磨区の自立支援協議会への加盟も検討していく。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3			・送迎時に口頭で報告や情報共有を行い、日々の記録を通して児童の現状や成長、課題等を伝えて共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3			・保護者との面談や日々のフィードバックの時間で児童に対する声掛けや対応方法などを提案している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			・契約時含め契約書や重要事項説明書の内容について担当者が責任をもって説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			・保護者の意向やニーズはもちろん、子どもの気持ちや意思も尊重しそれぞれの子どもにとって最適な支援計画を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3			・放課後等デイサービス計画に基づいた支援内容を説明し発達段階に合わせた支援計画に同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3			・送迎時による相談などには、迅速に対応するとともに、必要に応じて面談の場を設け、話を傾聴し助言や情報提供などの対応を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3			・保護者同士のコミュニティが作れる場を設けてほしい等のご相談があった際には実施できるように努める。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3				・苦情などの申し入れがあった際は職員同士で共有、話し合いのもと迅速に対応している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3				SNSを通して、活動内容やイベント等のスケジュールを伝えている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3				・個人情報は、鍵付き書庫等で厳重に管理している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3				・一人ひとりの特性や発達に合わせた方法で個別対応している。保護者の方に対しては、情報を伝えるタイミングや方法等を配慮するようにしている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3			・防犯やこどもたちの特性上、開かれた交流の場は作っていない。新型コロナ以降はさらに外部の方を招き交流することに消極的な面がある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1			・各種マニュアルを整備し、定期的に訓練を行っている。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	1			・定期的に避難訓練を実施し、実際に災害が発生した際も迅速に対応できるよう緊張感をもって取り組んでいる。また、実施時は記録も作成している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3				・保護者記載のシートにより把握している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3				・保護者記載のシートにより把握している。 ・イベント等で食材を出す際は事前にメニューを伝えアレルギーの有無を確認している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3				・日々の支援の中で安全管理、危機管理には職員間で連携を取り、必要な措置を講じている。